

平成26年10月23日

うるま市長  
島袋俊夫様

うるま市行政改革推進委員会  
(補助金審査委員会)  
会長 佐藤学

## 平成26年度うるま市補助金等に関する審査結果について

この度、うるま市行政改革推進委員会規則第2条第3項及びうるま市補助金制度に関する指針に基づき、うるま市が行う補助金等について審査を行ったところでありますが、審査委員会としての提言を別紙「平成26年度うるま市の補助金等に関する審査結果について」のとおり取りまとめましたのでここに報告いたします。

平成26年度

うるま市の補助金等に関する審査結果について

平成26年10月

うるま市補助金審査委員会

## 目 次

第 1	審査の対象と方法	1
	審査の対象	
	審査方法	
第 2	審査結果概要	2
	総括	
	総合評価内訳	
第 3	個別審査結果	5
◇	付属資料	12

# 第1 審査の対象と方法

## 1 審査の対象

今回は、すべての部署の補助金等を対象に、事務局が調製したリストの中から各委員が3点をピックアップし、委員会で最終選定した13件の補助金等を対象に審査した。ただし、以下のものを除く。

- ・出席者負担金
- ・法令（市条例は除く）に定めのある負担金

## 2 審査方法

審査結果を新年度の予算編成に反映させるため、10月までに審査を終えることにした。

審査は個別の補助金等について、事前に事務事業評価票（補助金交付型）、事業報告書、決算書等の資料の提出を求め、担当部署ごとにヒアリングを実施し以下の要領で行った。

- ①「うるま市補助金制度に関する指針」に定める「交付基準」を踏まえ評価を行い、「見直し基準」により方向性を判断する。
- ②審査対象補助金を1回あたり、6～7件を目途に審査する。
- ③審査では、補助金審査票（事務事業評価票・補助金交付型）及び関連資料を基に担当課ヒアリングを実施する。ヒアリングは、うるま市補助金制度に関する指針に示した補助金交付基準（1. 事業の公共性、2. 事業の効果性（有効性・効率性・適時性）、3. 団体等の適格性など）に基づき、市民の視点から補助の必要性、額の妥当性等を検証する。
- ④上記審査に基づき、委員会としての総合評価（A、B、C、D）を決定し、その理由や意見、見直しの方向性等を取りまとめる。

## 第2 審査結果概要

### 1 総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

うるま市における補助金等のあり方について、市民の目線で審査を行うために当委員会が設置され、今回で8度目の審査となった。市民の立場から補助金等を確認していくことは行政改革として大変重要なことであり、補助金等が設定された趣旨や、時代の流れの中で本当に相応しいのか、常に検証していく必要がある。

今回、各委員が3点ずつピックアップした補助金等の中から、委員会で最終的に選定し、担当部署の事務事業評価票を基にヒアリングを行い、「うるま市補助金制度に関する指針（平成26年5月改訂）」に基づいて「本当に必要な補助金か」「額は妥当か」「運営上の課題はないか」の視点から審査を行った。審査の結果として、まず始めに総括的な指摘事項として以下のとおり提言する。

#### (1) 自立を後押しするための補助

ここ数年の審査において、自主運営が可能と思われる団体に対する運営補助金について、縮小・廃止に向けた検討を提言してきた。

団体運営補助は、自立できるまでの一定期間の補助であり、「補助金ありき」での事業計画や活動の展開であってはならない。時代の移り変わりと共に社会のニーズも変化していることから、補助団体においても、自助努力による事業展開をより一層行い、地域や他団体と連携するなど、補助金に頼らない自主的・自立的な運営をしていく方策を講ずるべきである。

担当部署は、団体運営補助金について、段階的な縮小、最終的な廃止に向け、積極的に働きかけることを求める。

#### (2) 補助金交付要綱の整備（見直し）の必要性

補助金交付要綱における交付額の設定が「予算の範囲内」というものがあり、算出方法や対象となる経費が明確に定められていない補助金が見受けられた。そのため、経費の内訳が不明瞭なものや事業の実施に必要な経費かどうか等、判断しがたい状況があることから補助金交付要綱の整備（見直し）を求める。

特に団体運営補助金については、運営経費と事業経費の区別が分かりづらく、補助対象経費を明確にする必要がある。

また、補助金は、毎年度の事業運営に必要な経費に対して、独自の財源で充足できない部分を対象とし、その算出方法等を交付要綱でしっかりと明記すべきである。

### **(3) 事業効果の検証**

今回、審査した補助金には事業効果の検証がなされていないため、効果が不透明である事業が見受けられた。

担当部署においては、補助金の有効性や市民・地域等への還元等、事業効果の検証をしっかりと行い、客観的な視点で補助の必要性、補助額の妥当性を判断する必要がある。

また、検証した効果については、市民等へ積極的に情報公開し、より透明性のある事業（補助金）としていただきたい。

### **(4) 改善意識を持った事務手続き**

ほとんどの補助金等の事務処理は、予算措置や団体等からの実績報告、交付事務のみとなっており、前例踏襲的、定例的な事務処理となっているように思われる。

担当部署は、補助金等の交付に対して明確な目的意識を持ち、市民の目線から見て適切なものなのか、運営上の課題はないか、常に確認・検証しながら事務を進めていただきたい。

また、関連する補助金との統合等による事務の簡素化、効率化に向けた改善をしていただきたい。

### **(5) 子ども子育て支援新制度を見越した補助金のあり方の検討**

今回の審査では、子ども子育て支援新制度（以下「新制度」という。）と関連する補助金が数件あった。少子化対策として、児童の健全育成、子育て支援への行政の関与は重要であることから、平成27年度から本格的にスタートする新制度を見据え、関連する補助金の継続・廃止等について十分精査し、より充実した子育て支援に繋がるようしっかりとした対応を求める。

### **(6) 改善に向けたアクション**

審査委員会の審査意見に対し、担当部署の対処方針が示される仕組みは評価する。しかし、前年度に示した対処方針の中には、審査意見に対する具体的な改善策が示されていないため、同じ指摘が今年度もなされている補助金がみられた。

実効性のある改革に繋がる前記の仕組みを活かすため、担当部署においては、審査委員会の意見を真摯に受け止め、より具体的な改善策の検討、確実な改善を強く求める。

また、審査委員会として、前年度の対処方針がどのように反映され、改善がなされているのか、事後検証を含め次年度以降の審査に活かしていく必要がある。

## (7) まとめ

今回の審査では、これまでの指摘事項の改善が図られているものと、そうでないものがあつた。審査委員会の評価を次年度の予算に反映できるよう、その対応を引き続き求める。

担当部署においては、補助金額は適正か、事業に充てられた経費か、また、補助により明確な効果が期待できるか等、常に確認しながら事務を進めていただきたい。

また、補助金の効果や恩恵を受ける機会は、すべての市民又はすべての対象者に公平、平等に行きわたる必要があることから、十分な周知を図り、補助団体は、その成果・効果を公表するなど、事業の透明性を図っていただきたい。

なお、今回審査対象でない補助金についても、「うるま市補助金制度に関する指針」に基づき適正な補助金交付がなされているか、各担当部署はしっかりと精査する必要がある。

## 2 総合評価内訳・・・・・・・・・・・・・・・・

- A：更に充実させる方向で見直し・・・・・・・・・・ 2件
- B：現状のまま継続・・・・・・・・・・・・・・・・ 5件
- C：効率化・コスト削減の方向で見直し・・・・・・・・ 5件
- D：縮小・廃止を前提とした見直し・・・・・・・・ 1件

### 第3 個別審査結果

#### うるま市シルバー人材センター運営補助金【企業立地雇用推進課】・・・・・・・・

##### 「うるま市シルバー人材センター運営補助金」の評価のまとめ

###### 総合評価

D：縮小・廃止を前提とした見直し

###### 具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

前回の審査の結果を反映し、補助金額を減額できたことは、高く評価できる。

しかし、社会情勢等の変化により、国の補助金がこれまで、大きく減額されている経緯から、市においても国庫補助並に減額していき、最終的には自主自立の運営を目指すべきである。

また、雇用の創出及び高齢者のいきがい、社会参加のどちらに重きを置くか等、シルバー人材センターの位置づけを明確にする必要がある。

さらに、職員の人件費の水準の見直し、会員に還元できるような体制づくり、自立に向けた事業展開ができるよう、市としてしっかりと働きかけるべきである。

#### うるま市プレミアム商品券振興補助金【商工観光課】・・・・・・・・・・・・・・・・

##### 「うるま市プレミアム商品券振興補助金」の評価のまとめ

###### 総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

###### 具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

商品券の販売実績等から市内での経済効果が見られ、さらに会員の加入促進にもつながっていることは評価する。

今後は、経済効果がある中で、広く一般市民が活用しやすいよう、販売期間の見直し、特定業種に集中しない販売努力など、更なる工夫が必要である。

また、プレミアム商品券が利用された地域、事業の効果等が不明確であるため、次年度は、詳細なデータ収集などを行い、効果が明確になるよう改善を求める。

うるま市与勝地下ダム土地改良区補助金【農水産整備課】・・・・・・・・・・

「うるま市与勝地下ダム土地改良区補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

現在、継続中である沖縄県農業用水利活用不利性解消事業の区域が拡大することにより、使用料の増額が見込まれること、また毎年度の補助金交付額が減額されていることから、より一層使用料収入の向上に向けて努力が必要である。

最終的には、受益者負担の観点から、使用料の収入等で運営できるよう、目標に向け取り組むよう求める。

うるま市社会福祉協議会運営補助金【生活福祉課】・・・・・・・・・・

「うるま市社会福祉協議会運営補助金」の評価のまとめ

総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

広範囲に事業を展開していることは評価するが、前回同様、まだまだ、事業が細分化されており、近隣市と比べると事業数が多い傾向がある。市として、事業のスリム化を働きかけるべきである。

また、補助金を交付することで、市の福祉にどのような効果をもたらしているのか、成果指標をしっかりと示すことを求める。

さらに、事業に対する市民の満足度を把握するため、調査を実施するなどの努力が必要と考える。

社会福祉協議会の担う役割が大変重要なことは認識している。今後も効率的・効果的な事業を展開し、さらに充実した福祉を目指していただきたい。

## うるま市放課後健全育成事業補助金【児童家庭課】・・・・・・・・・・・・・・・・

### 「うるま市放課後健全育成事業補助金」の評価のまとめ

#### 総合評価

B：現状のまま継続

#### 具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

子どもの安全・安心な居場所づくり、多様化するニーズへの対応、また、学童クラブの需要数の増大へしっかり対応していただくことを考えると、学童クラブへの補助の必要性は高い。

学童クラブを充実することが児童の健全育成に必要不可欠であり、子どもたちのより良い環境づくりや保護者の負担軽減のためにも、環境、人員を整える必要がある。

今後は、補助を現状のまま継続していただき、平成27年度からスタートする子ども子育て支援新制度を見据え、放課後の子どもの居場所づくりをしっかりと構築していただきたい。

## 政務活動費【議会事務局庶務課】・・・・・・・・・・・・・・・・

### 「政務活動費」の評価のまとめ

#### 総合評価

B：現状のまま継続

#### 具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

政務活動費の使途基準を定め、領収書等の証拠書類の写しを添えた収支報告書の提出を義務付けるなど、これまでの審査結果から改善が見られたことに対し、高く評価できる。

今後は、政務活動費による視察や調査研究が一般質問等にどのように結びついたか、市民に周知する工夫をしていただきたい。

また、政務活動費の使途、研究内容、成果等をなお一層、市民に伝える努力をしていただきたい。

## 私立幼稚園就園奨励費補助金【学務課】・・・・・・・・・・・・・・・・

### 「私立幼稚園就園奨励費補助金」の評価のまとめ

#### 総合評価

B：現状のまま継続

#### 具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

当該補助金は、私立幼稚園に通園する園児の保護者の経済的な負担軽減が図られ、幼稚園教育の振興に寄与していることから必要性は高いと考える。

私立幼稚園は、公立幼稚園に比べ児童数、保育料・入園料に差があることから、本補助金による支援は教育の場の拡大に繋がることが期待できる。

今後は、私立幼稚園の動向を把握し、平成27年度の子ども子育て支援新制度にしっかり対応できるよう、支援方法の検討に努めていただきたい。

また、国の基準である所得制限の撤廃及び多子世帯の全世帯補助に向けては、市の財政状況等を加味しながら慎重に検討していただきたい。

## うるま市老人クラブ連合会補助金【介護長寿課】・・・・・・・・・・・・・・・・

### 「うるま市老人クラブ連合会補助金」の評価のまとめ

#### 総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

#### 具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

高齢化社会が進展する中、市老人クラブ連合会の役割は大きくなっており、高齢者福祉の観点から必要性が高いことは理解できる。

しかし、老人クラブ連合会加入会員数は年々減少傾向であり、加入率の向上を図るには、より魅力的な活動や事業を展開するなど更なる努力が必要だと考える。

役員手当が市老人クラブ連合会及び各支部でそれぞれ支出されていること、会費に比べ補助金による歳入が多いこと等から、コスト面のスリム化を促すとともに、より充実した活動を推進するよう働きかけるべきである。

また、補助金の使途、補助率、補助単価等を明確にし、透明性のある補助金交付に向けた改善を求める。

## うるま市単位老人クラブ補助金【介護長寿課】・・・・・・・・・・・・・・・・

### 「うるま市単位老人クラブ補助金」の評価のまとめ

#### 総合評価

C：効率化・コスト削減の方向で見直し

#### 具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

高齢化社会が進展する中、地域を拠点とした単位老人クラブの役割は重要であり、高齢者福祉の観点から必要性が高いことは理解できる。

しかし、ほとんどの単位老人クラブにおいて、補助額以上に余剰金が多いことから補助の必要性に疑問がある。

今後は、交付手続きの適正化、簡素化及び事務の効率化の観点から、市老人クラブ連合会を経由した交付を検討するなど、補助金交付の仕組みを改善するよう求める。

## うるま市在宅介護者の会補助金【介護長寿課】・・・・・・・・・・・・・・・・

### 「うるま市在宅介護者の会補助金」の評価のまとめ

#### 総合評価

B：現状のまま継続

#### 具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

在宅で高齢者介護をしている家族の支え合いの場、それを支援する「在宅介護者の会」の役割は理解できるが、加入促進に向けた周知が十分でないように思われる。

高齢化社会が進展する中で、支援が必要な介護者は今後も増加することが想定されることから、積極的な周知により対象者の加入促進を図りたい。

また、更なる在宅介護者の心身のリフレッシュを図るため、さまざまな事業と連携する取組みが必要だと考える。

一方で、補助団体として監査機能を有していないことや補助対象経費等が不明確であることから、担当部署は、同会への指導及び交付要綱の見直しなど改善が必要である。

## うるま市敬老会事業補助金【介護長寿課】・・・・・・・・・・・・・・・・

### 「うるま市敬老会事業補助金」の評価のまとめ

#### 総合評価

B：現状のまま継続

#### 具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

高齢者の長寿を祝福し、敬老の意を表する敬老会実施事業に対し、補助することは理解できる。

今後は、交付手続きの簡素化、効率化を図る観点から、各自治会に関連する補助金又は事務委託費へ敬老会事業経費を含める等、支援方法を検討し改善していただきたい。

## 地域子育て支援拠点事業・一時預かり事業補助金【保育課】・・・・・・・・

### 「地域子育て支援拠点事業・一時預かり事業補助金」の評価のまとめ

#### 総合評価

A：更に充実させる方向で見直し

#### 具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

自宅保育している保護者の育児負担の軽減及び子どもの健やかな育ちを支える事業への補助金であり、必要性は高い。

一時預かり事業の実施個所数が減少していることから、保育士確保などの方策を講じながら、事業実施個所数の増加に向けた努力が必要である。

また、地域子育て支援センター事業の実施個所数は目標値に達しているが、利用者数の増加に向けた努力が必要である。

今後は、事業の拡充も視野にいれながら、平成27年度の子ども・子育て支援新制度にしっかり対応できるよう、より充実した子育て支援に努めていただきたい。

## 「うるま市法人保育所運営助成金」の評価のまとめ

### 総合評価

A：更に充実させる方向で見直し

### 具体的な総合評価の理由及び事業に対する意見等

当該補助金は、障がい児を受け入れ健常児とともに集団保育を行うことで、双方の発達・成長に繋がる支援であり、実施保育園の経費負担軽減のため必要だと考える。

障がい児保育に対する知識経験等がそれぞれの加配保育士で異なることから、より充実した研修会の実施や巡回指導を行い、市全体の保育士のスキルアップを図っていただきたい。

今後も、実施保育園に対する支援を継続し、安心して障がい児保育ができるような環境を構築しながら更なる保育行政の充実に努めていただきたい。

◇付属資料

うるま市補助金審査委員会委員名簿

	区分	氏名	役割等
1	委員長	さとう まなぶ 佐藤 学	学識経験者
2	副委員長	いは ひろし 伊波 洋	公募委員
3	委員	ふくはら とおる 福原 徹	公募委員
4	委員	なかち はじめ 仲地 一	公募委員
5	委員	とぐち ひろゆき 渡久地 博之	公募委員
6	委員	かわの えつこ 川野 悦子	公募委員
7	委員	そのざき かよこ 園崎 香代子	公募委員
8	委員	いけはら ともこ 池原 トモ子	公募委員
9	委員	たま え あきひろ 玉栄 章宏	公募委員
10	委員	しんじょう もとき 新城 基樹	公募委員
11	委員	やましろ えいこ 山城 栄子	公募委員

## 平成26年度 うるま市補助金審査委員会審査経過

日 程	事 項	内 容
4月30日(水) ～5月23日(水)	各委員による選定作業	補助金等の中から各委員3件ずつ選定
6月16日(月)	第1回行政改革推進委員会	補助金審査対象事業の選定
8月11日(月)	第1回補助金審査委員会	①「うるま市補助金審査委員会設置に関する方針」の確認 ②平成26年度補助金審査委員会日程等の確認 ③審査方法の確認 ④個別補助金について審査【6件】
9月12日(金)	第2回補助金審査委員会	①第1回委員会、議事録及び評価のまとめ確認 ②個別補助金について審査【7件】
10月9日(木)	第3回補助金審査委員会	①第2回委員会、議事録及び評価のまとめ確認 ②審査結果報告書の作成
10月23日(木)	平成26年度補助金等に関する審査結果について	補助金審査結果を市長へ報告